

横浜国際プール
第二期指定管理者業務評価表

<評価基準>
 A(著しく優れている): 業務基準・目標水準を遥かに上回っている。
 B(適正): 業務基準・目標水準を達成できている(※標準点)
 C(改善の必要有): 業務基準・目標水準に満たない。又は一部未達成。

<コメント・理由欄>
 A: 数値・具体的な事項等を記入のこと。当初予定していなかった事業を実施し効果をあげたり、目標を遥かに上回った理由を記入。
 B: 目標通り達成できている場合は特にコメント不要。目標と違う方法でも同様の効果が得られた場合はその様に記載。
 C: 目標に達しなかった理由や今後の改善策を記載のこと。

基本方針	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	総括コメント	行政評価	総括コメント	外部評価	総括コメント
1 横浜のスポーツ・レクリエーションの拠点として、水泳をはじめとした各種スポーツの振興・普及を図るとともに、アスリートから一般の市民まで幅広く満足と感動を与える施設を目指す。	横浜のスポーツ振興の一端を担う施設として、プール、スポーツフロア共に、大規模イベントを誘致・開催し、併せて、運動・スポーツ・健康をキーワードとした事業に力点を置いた、「スポーツ振興と健康づくりの拠点」として、横浜国際プールを「再生」する。		B	<p>全日本学生水泳選手権・日本マスターズ水泳選手権などの水泳大会の他、メインアリーナではテニス日本リーグ決勝大会・少林寺拳法全国大会・プロバスケットbjリーグ等の全国規模の大会を誘致・開催しました。</p> <p>また、乳児から高齢者・障害者まで、週に200種類以上の多種多様な教室事業やイベントを実施しています。トップレベルの選手による競技者への指導や、健康志向に対応したプログラムの提供等により、市民のスポーツ振興・健康づくりをサポートしています。</p>	B	<p>全国規模の大会の積極的な誘致、市民向け教室の利用者増など、アスリートから一般の市民に至るまで、市のスポーツ振興を担う施設としての役割を発揮できている。</p> <p>今後は、情報発信の方法をさらに工夫し、大会開催実績・省エネや施設管理の取組等、ハード・ソフト両面において蓄積されたノウハウを全国に向けてPRすることで、さらなる利用者獲得、大会誘致に繋げたい。</p>	B	<p>競技団体への働き掛けによる大規模大会の開催が、目標以上に実施できている。</p> <p>水泳のみならず、種々の健康づくりメニュー・イベントが提供されており、スポーツの振興において大きな役割を果たしている。</p> <p>今後は、大規模大会が定着し、より利用者が増えるような運営を期待している。</p>
2 スポーツ大会や各種イベントにおいて、主催者等の多様なニーズに応え、効率的・効果的な施設運営及び施設PR・周辺環境への配慮を行う。								
3 スポーツ関係団体や関係者との連携強化による大規模スポーツイベントの誘致、管理運営方法や新たな事業の提供、サービスの向上を行う。								

(1)事業目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
大規模イベントの誘致・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・日本水泳選手権、ジャパンオープン水泳規模の大会の誘致・開催 ・球技・武道種目での公式戦・全国大会の誘致・開催 ・ジュニアクラスの全国大会・競技大会の誘致・開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本級の大会・競技会を7大会以上開催(H23-25) ・bjリーグ公式戦を10試合以上開催(H23-24) ・新規の全国レベルの大会を開催(H25) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主な全国レベルの水泳大会としては、全日本学生水泳選手権(H23-H26)や、ウーマンズスイムフェスティバル(H25)、日本マスターズ水泳大会(H26)等を誘致・開催。 ・フィンスイミング、ライフセービング、テニス日本リーグ等の全日本級大会は、毎年定着。 ・球技・武道では、ハンドボール全日本選手権(H23)、少林寺拳法全国大会【小学生の部・中学生の部を含む】(H24)、キャンセルとなったが、日本サッカー協会小学生全国フットサル大会の予約に至った(H25)。 ・新たにフットサルFリーグ(国内トップリーグ)11試合分の予約(H26)。今後の定着が見込まれる。 ・全日本級の大会・イベント数は、平成23年度は18回、24年度は20回、25年度は13回。平成21年度(前指定管理者時)の年間9回に比べ、大幅に増加。 	A	<p>20以上の中央競技団体と毎年定期的に接触し、ネットワークを構築するなど、全国規模の大会誘致に向けて効果的な働きかけを行えている。</p> <p>結果として、前指定管理者の実績及び第二期指定管理の目標件数を大きく上回る大会を開催できている。</p> <p>今後は、各種大規模大会の定着化を目指したい。</p>		
市民アスリートの育成支援および市民の健康づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アスリート向けスキルアップ講座の開催 ・健康づくり事業の実施 ・横浜のプロスポーツチーム等と連携し、市民がトップアスリートのプレーに触れる事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室事業 <ul style="list-style-type: none"> ・バレー・ボーラークリニック(H23、24) ・ジュニアバレー・ボーラー(H23-25) ・レディースバレー・ボーラー(H25) ・新体操小中学生(経験者)(H23、24) ・4ランダイエットのすすめ(東洋医学に基づく健康づくり)(H25) ・チアリトル、キッズ、ジュニア教室(H24、25) ・バスケットボールタイム(H23、25) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に健康づくり事業・トップアスリートのプレーに触れる事業を取り入れて実施。元全日本選手によるバレー・ボーラー教室は年に30回以上の定期教室で実施し、参加者も増加。 ・教室のほか、水泳・バレー・ボーラーの元オリンピック選手によるイベントを実施(H23-25)。水泳イベントでは、コナミS&L所属の日本代表選手が講師で参加して好評を得る。 ・横浜スポーツ医会等との共催にて、こどもの怪我予防のためのリズムトレーニングイベントを実施予定(H25) 	B	<p>教室事業などの参加者は年々増加傾向にあり、市民の健康づくりに寄与しているといえる。</p> <p>施設Webサイト上の告知のみで利用者が集まるなど、利用者間に教室事業が定着していることが窺えるが、今後はソーシャルメディアを通じた情報発信の手法を検討し、さらなる利用者増に繋げたい。</p>	B	<p>目標であった、全日本級の大会開催7大会以上を大きく上回る回数を実施できたのは、努力の結果といえる。</p> <p>大規模大会のみならず、一般利用者に対しても、利用環境の向上に努めている。託児サービスは子育て世代にもスポーツに親しんでもらうためにぜひ続けてほしい。</p>
市内プール施設の中核としての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公共プール管理責任者を集めた連携協力会の開催提案 ・他市内プール施設との連携による初心者記録会の開催 ・プールにおける安全管理・効果的な指導の普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同企画による初心者記録会の開催 ・プールにおける安全管理・効果的な指導の普及・啓発 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・連携協力会開催に向け、市内余熱利用等温水プール施設へ案内し、初心者記録会を実施(H25)。 ・一般利用者向けにCPR&AED講習を実施(H25-26) ・着衣水泳講習会を実施予定(H26) 	C	<p>今後は、先進的事例となるような取組を積極的に実施することで、市内プール施設のみならず、全国のプール施設のモデル事例として認知される施設を目指したい。</p>		<p>連携協力会の開催については、予定どおり、26年度以降に必ず開催できるよう行政と調整しながら引き続き頑張ってほしい。</p>
環境に配慮した施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市脱温暖化行動指針(CODO-30)」への協力 ・周辺地域の子どもたちを対象とした環境学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物・設備保守点検計画による、省エネルギー計画 ・敷地内緑地等の環境保護 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水の使用量について2013年度(1月末時点)は2010年度(前指定管理者)比較で11-24%削減。快適性を確保したうえで、空調・ろ過機、照明等の運転時間を短縮 ・中学生の職場体験を最大限受け入れ、国際プールの省エネ対策や緑化事業、環境の美化等の学習を実施(H23-25) 	A	<p>光熱水費が高騰する中、様々な取組・工夫により、使用量の削減を実行できている点は評価できる。</p>		
安全・安心・快適な施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルマネジメントの導入 ・長期保全計画の策定 ・スポーツコンシェルジュの配置 ・託児サービスの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期保全計画の策定・実施(H23-25) ・スポーツコンシェルジュの配置(H23-25) ・託児サービスの実施(H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画通り実施し、日常点検等で問題を早期に発見して対応することで長寿命化を図っている。 ・お問い合わせの要望に合わせ、周辺施設の情報も積極的に提供。 ・託児サービスは教室参加者等から好評。 ・防災訓練を年2回実施。 	B	<p>長期保全計画に則り、日々の施設点検を実施している。また、有事に備え、避難訓練や緊急連絡体制の構築を行っており、安全な施設利用のための備えができる。</p> <p>また、利用者が不便に感じている点など、アンケートやお客様BOXを通じて意見を取り入れ、必要に応じて、備品を設置する、運用を変えるなどの対応がでできている。</p>		

横浜国際プール
第二期指定管理者業務評価表

(2)運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> スポーツコンシェルジュの配置 接遇研修の徹底 ご意見箱の設置および回答内容の開示 事業別アンケートの実施及び回答内容の直近行事等への反映 お客様相談室の設置 質の高い専門指導者の育成 子育て家庭向けのサービスの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツコンシェルジュの配置 (H23-25) 接遇研修の実施 (H23-25) ご意見箱の設置 (H23-25) 事業別アンケートの実施 (H23-25) お客様相談室の設置 (H23-25) スタッフ教育・研修の徹底 (H23-25) オムツ交換台設置、ベビーキープの設置、レストランでお子様メニューの提供、赤ちゃん、子どもを対象の教室実施等 (H23-25) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 接遇研修は定期的に実施。 ご意見箱の意見への回答は、館内で開示 (H23-25) アンケート調査をH25年度からは四半期毎に実施 トレーニング室の機器を更新 (H25) サブプールのコース貸しを細分化するために予約システムを改良 (H25) テニス専用の冬季スポーツフロア時に、フットサル等にも利用が可能な設定とした (H24、25) 乳児と保護者を対象の教室を新設 (H25) 	A	利用者のニーズに応え、利用形態等の変更・改善を柔軟かつ積極的に行っている。		利用者のニーズに応え、利用形態の改善を、柔軟かつ素早く行っていることが評価できる。 深夜・早朝の営業時間の拡大やコンビニ・レストランの営業など、利用者にとって利用しやすい状況になっている。 赤ちゃん・子供を対象とした教室の実施は、保護者にとっても精神衛生上良いので統けてほしい。
広報計画	<ul style="list-style-type: none"> インターネット、広報誌、マスメディアを通じた事業案内等の積極的な情報発信 近隣施設・類似施設でのパンフレット配布・ポスター掲示 大規模イベント開催時のPRブースの設置依頼 スポーツ情報コーナーの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、情報サイト、スポーツ情報誌、新聞折込、地域情報誌、雑誌等を活用したPR (H23-25) 近隣施設・類似施設でのパンフレット配布・ポスター掲示 大会・イベント・教室の案内、近隣施設の情報提供 (H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 北山田駅パンフレットスタンドに専用枠を確保 (H25) センター北駅に専用掲示板を設置 (H23-25) 日産スタジアムでのJリーグ開催時に、横浜国際プールのPRブースを設置 (H25) 	B	各種広告・宣伝媒体を活用し、事業内容の宣伝を行っているが、マスマディヤやソーシャルメディアを活用したPRなども今後検討していく。	B	最寄り駅や近隣施設にポスター・パンフレットを置くことは、地域密着で効果が期待できるが、ある程度浸透したらもう少し広範囲に広告宣伝していくといいと思う。
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 早朝・深夜の営業時間拡大 充実したスポーツ教室事業の実施 文化系プログラムの実施 レンタルロッカー設置、スポーツ関連グッズのレンタルサービス提供 レストラン、パントリー、物販等の便益施設の充実 歳時記イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 深夜・早朝の営業時間の拡大【平日深夜22:30まで、休日早朝7:30から】(H23-25) ・ブルー、フロア、会議室等での多種多様な教室の開催 (H23-25) ・レンタルロッカー設置、スポーツ関連グッズのレンタルサービス提供 (H23-25) ・レストランの営業、パントリーでのコンビニ(売店)営業 (H23-25) ・歳時記イベントの実施 (H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数の増加 H23 636,822人 H24 673,770人 H25 771,000人(見込) 会議室1の床をスポーツ利用可能な方に更新し、スポーツ教室を開催 (H25) 多目的ホールで卓球等の個人利用や教室を新たに設定予定 (H26) レンタルロッカーの設置 (H25) 新規でコンビニを営業 (H23-25) 竹燈籠まつりに協力、七夕時に笹と短冊記入台設置、クリスマスツリー設置等 	B	周辺に民間のジムがあるなど、厳しい環境の中、利用人数の増に繋がるような利便性向上の取組を行っている。 今後は、当初設定している目標利用人数に近づくよう、さらなる努力を求める。		
(3)維持管理目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
施設の効率的、効果的な維持管理および安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルマネジメントの導入 1日3回の日常点検の実施とダブルチェックの徹底 「建築物全業務共通仕様書」に基づいた月間・年間定期点検の実施 汚損事象放置防止による設備機器の長寿命化 単年度及び中長期的修繕計画の策定・実施 故障・不具合等の発生対応に備えた危機管理対応マニュアルの作成 「横浜国際プールメンテナンス協力会」「メンテナンス委員会」を組織し、修繕計画を実行 備品管理台帳のデータベース化 	<ul style="list-style-type: none"> 運転監視業務計画 (H23-25) 日常巡回点検業務計画 (H23-25) 月間及び年間の定期点検・測定・整備作業計画 (H23-25) 省エネルギー等のコストダウン計画 (H23-25) 修繕計画の策定 (H23-25) メンテナンス委員会とメンテナンス協力会による保全体制 	B	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検を確實に行い、程度に関わらず異常を発見時は、当日のうちに確認作業を実施。 定期的及び随時内部会議を行い、メンテナンスについての方向性を共有し、専門業者と調整。内容により、横浜市とも情報を共有。 3千以上ある備品の台帳をリニューアル 	B	日常発生する事象を共有する仕組みができており、トラブルの芽を摘む努力がでできている。 また、多くの備品の管理も徹底されている。	B	日常的に点検がしっかりと行われており、専門業者や横浜市と情報を共有した上で計画的なメンテナンスが行われている。 その結果、施設の安全性の確保や効率的・効果的な維持管理がでできている。
環境保全に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「建築物環境衛生管理技術者」を配置し、施設の衛生管理状況と業務品質の向上に努める 「G30」プランに則った資源分別、3Rの計画的実行 ベテランのエネルギー管理員の配置による効果的なエネルギー管理 外構植栽管理業務の執行 	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理総括責任者兼設備保全責任者を配置し、清掃計画に沿って実施。 「G30」プランに則ったゴミの減量・リサイクル行動を実施 省エネルギー等のコストダウン計画 外構植栽管理業務の執行 植栽計画の実施(みどりアップ計画に則り、北山田駅から南エントランスまでの階段左側の緑化推進) (H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水の使用量については2010年度と2013年度(1月末)比較において前管理者比11-24%削減(再掲) 地域の中学生の職場体験受入の際、南階段斜面に1200本のツツジを植樹 (H23) 	B	光熱水費の削減努力、緑化への協力等が実行できている。		

横浜国際プール
第二期指定管理者業務評価表

(4) 収支目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント																																																														
コスト管理	<ul style="list-style-type: none"> 既存設備の利用可能期間長期化による設備関連コストの削減 ファシリティマネジメントやライフサイクルコストの導入 利用者アンケートやスポーツ教室への参加状況等を踏まえた収支のバランス適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーホール・清掃による設備機器の長寿命化 (H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・支出は予算を下回った (H23, 24) ・省エネによるコスト削減を図った ・不採算教室の縮小 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">H23</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">H24</th> </tr> <tr> <th></th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差額</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理</td> <td>827,394</td> <td>714,649</td> <td>△ 112,745</td> <td>791,948</td> <td>746,731</td> <td>△ 45,217</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>827,394</td> <td>789,462</td> <td>△ 37,932</td> <td>791,948</td> <td>727,569</td> <td>△ 64,379</td> </tr> <tr> <td>自主事業</td> <td>0</td> <td>△ 74,813</td> <td></td> <td>0</td> <td>19,182</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>154,849</td> <td>39,217</td> <td>△ 115,632</td> <td>144,169</td> <td>35,743</td> <td>△ 108,426</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>145,991</td> <td>17,441</td> <td>△ 128,550</td> <td>148,314</td> <td>11,793</td> <td>△ 136,521</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>8,858</td> <td>21,776</td> <td></td> <td>△ 4,145</td> <td>23,950</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>8,858</td> <td>△ 53,037</td> <td></td> <td>△ 4,145</td> <td>43,112</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H23			H24				予算	決算	差額	予算	決算	差額	指定管理	827,394	714,649	△ 112,745	791,948	746,731	△ 45,217	収支差額	827,394	789,462	△ 37,932	791,948	727,569	△ 64,379	自主事業	0	△ 74,813		0	19,182		収入	154,849	39,217	△ 115,632	144,169	35,743	△ 108,426	支出	145,991	17,441	△ 128,550	148,314	11,793	△ 136,521	収支差額	8,858	21,776		△ 4,145	23,950		収支差額	8,858	△ 53,037		△ 4,145	43,112		B	<p>慣例に則った施設運営を行うのではなく、省エネの努力、不採算教室の縮小など、常に運営方法を見直し、コスト削減に貢献している。</p>	B	<p>支出の抑制に努め、収支状況を改善するための努力が認められる。</p> <p>収入確保の取組として行われている、早朝深夜の開館は、利用者層と利用者数の拡大につながっている。</p>
H23			H24																																																																			
	予算	決算	差額	予算	決算	差額																																																																
指定管理	827,394	714,649	△ 112,745	791,948	746,731	△ 45,217																																																																
収支差額	827,394	789,462	△ 37,932	791,948	727,569	△ 64,379																																																																
自主事業	0	△ 74,813		0	19,182																																																																	
収入	154,849	39,217	△ 115,632	144,169	35,743	△ 108,426																																																																
支出	145,991	17,441	△ 128,550	148,314	11,793	△ 136,521																																																																
収支差額	8,858	21,776		△ 4,145	23,950																																																																	
収支差額	8,858	△ 53,037		△ 4,145	43,112																																																																	
収入増	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい料金設定、積極的な広報活動による利用促進策の展開 利便性向上による利用者数増 自主事業収入増 開館時間拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、情報サイト、スポーツ情報誌、新聞折込、地域情報誌、雑誌等を活用したPR (H23-25) ・近隣施設・類似施設でのパンフレット配布・ポスター掲示 ・深夜・早朝の営業時間の拡大、平日深夜22:30まで、休日早朝7:30から (H23-25) 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は震災の影響による施設閉鎖、計画停電、利用自粛等の影響もあり、収入が不足。 ・平成24年度は、サブプールが6ヶ月間の改修で閉鎖した影響が想定以上の範囲に出たことや、bjリーグの試合数減少等もあり、収入予算には及ばず。 ・人気教室の定員拡大や新プログラムによる収入の増 	B	<p>震災、工事等不可避の理由により収入減となつた。</p> <p>利便性の向上、利用者の関心の高い教室事業などを実施し、利用者獲得に繋げたい。</p>	B																																																															
(5) その他目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント																																																														
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 各種教室の指導者・運営補助従事者としての、地域の方々の採用 敷地内緑地等の環境保護 	<ul style="list-style-type: none"> ・公の制度に登録する地域の方々を活用 (H23-25) ・地域の方々と協働し、敷地内の環境保護に関する事業を企画・実施 (H23-25) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャーレンジ教室指導等で地域の人材を採用 ・地域の中学生の職場体験受入により、南階段斜面に1200本のツツジを植樹 (H23) (再掲) ・「竹灯籠まつり」に協力 (H23-25) ・都筑区の帰宅困難者対応施設として、協定の締結に向けて調整 (H25) 	B	<p>地域の人材採用は実施できている。</p> <p>地域の祭事への協力は、協賛品の提供等に留まっているため、施設側から主体的に関わる工夫が今後は必要。</p>	B	<p>地域の材活用を実施することで、横浜国際プールへの関心が高まり、利用増加の効果が期待できる。</p> <p>地域の中学生の職場体験と、敷地内の緑化を結び付けて実施したのは発想がよかったです。</p>																																																														